

長年の功績に光

秋の叙勲 瑞宝単光章 児童福祉功勞



越前谷 裕子さん(中浜)が受章

秋の叙勲受章者が11月3日に発表され、元能代市立第一保育所所長の越前谷裕子さん(中浜)が、長年の功績が認められ瑞宝単光章を受章しました。

越前谷さんは、昭和51年から保母として能代市立第一、第三、第四、河戸川、竹生保育所および子育て支援センターで勤務し、平成25年に第四保育所所長、平成26年から第一保育所所長を務められ、平成28年に定年退職されました。

受章を受けて「家族はもちろんのこと、一緒に働いた方々からお祝いをいただき、自分のことのように喜んで電話をいただいたり、お花を届けていただいたり、たくさんの方と一緒に仕事をして助けられてきたんだと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。」と話されました。

寄附をいただきました

ロータリークラブより支援金の寄附



11月22日、国際ロータリー第2540地区から、7月豪雨災害の支援金として100万円の寄附がありました。

当日は、能代白神ロータリークラブの平賀優子会長、本多千穂幹事および会員2名が来庁され、町長へ目録を手渡しました。

平賀会長は「全国からの支援金を届けることができ、良かった。地域住民のために役立ててほしい」と話しました。

公益社団法人能代法人会より図書の寄贈



11月13日、公益社団法人能代法人会(中嶋日吉会長)から、町内小学校2校6年生および教師、教育委員会を対象に租税教育に関する図書78冊の寄贈がありました。

当日は、法人会青年部会の佐々木暁部会長と相原春樹事務局長が訪れ、鈴木教育長へ目録を手渡しました。

能代法人会では、次代を担う児童が税金の大切さを考えるきっかけづくりとして、地域社会への貢献事業として、租税教室も開催しています。

八峰白神ジオパーク

連載 154回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
 ☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
 HP <https://geopark.town.happo.lg.jp/>



白神の恵みに生きる

地域の人の話を聞いて、
大地と自然と人のつながりを考えます

ジオも人も「一期一会」がテーマです



話をしてくれた人

かとう ともりの
加藤 知徳さん

昭和42年、岩館生まれ。八森郵便局長、八峰白神ジオパーク推進協議会団体会員。高校卒業後、秋田市、東京、仙台などの郵便局で勤務後に帰郷、峰浜局を経て現在に至る。趣味はサウナ、トランペット、将棋、三線。銘酒「白瀑」を呑みながら食す「あわびの水貝」が好物。

○ジオパークに関わったきっかけ

私は岩館小学校に通っていたんですが、八峰白神ジオパークを立ち上げた工藤英美先生が5、6年生の時の恩師でした。当時、グラウンドを整備するために学校の裏山を切り開いていました。そして、山の断面の地層から出てきた石英やメノウといった鉱物を英美先生が教えてくれたんです。今思えば、それがジオパークと関わる始まりかもしれません。

その後、八森郵便局に赴任が決まり、八峰町に戻ってきたときに、英美先生がジオパークをがんばっていたので、英美先生がやっているのであれば応援したいなという気持ちで講演を聞きに行ったりしていました。郵便局もジオパークも全国的なネットワークなので、他の地域と連携しながら、お互いにメリットのあるPRができればと考えています。

○ジオパークの全国大会に参加して

10月に千葉県銚子市で開催された日本ジオパーク全国大会に参加して、他の地域のいろいろな活動を見ることができ、良い刺激を受けました。全国大会では、「ジオパークから考える川・海のゴミ問題」という体験型の分科会にも参加して、銚子海岸でマイクロプラスチックを収集しました。見た目はきれいな海岸なんですけど、それでもマイクロプラスチックが大量に採取できました。それで、帰ってきてから峰浜の海岸に犬の散歩で行った時、今まで注意して見ていなかったんですが、ものすごい数のゴミがありました。分科会の中では、子どもたちと一緒にマイクロプラスチックの清掃活動をする事例も紹介されていたので、そういった活動を八峰町でもやれと良いと思いました。



銚子海岸の清掃活動の様子

○八峰町の夕陽が好き!

今回、銚子に行ったら「地球の丸く見える丘」という展望台がありました。展望台から海の水平線が丸く見えるのですが、八峰町のチゴキ灯台でも水平線が丸く見えます。八峰町は良いところがいっぱいありますが、私はチゴキ灯台からの景観が一番好きで、学生時代はよく自転車をこいで行って、夕陽が沈むまでじっと眺めていました。特に、夕陽が沈んだ瞬間に山側の空が紫色になるのが絶妙にきれいで印象に残っています。